

クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより

No.58

7月

2023/令和5年



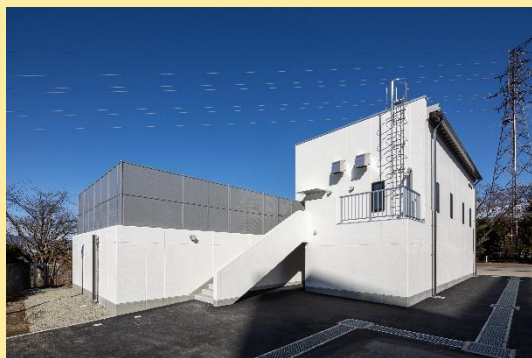
今回のトピックス

特高受変電設備の改築工事を行っています

諏訪湖流域下水道では、平成30年度に策定した『下水道ストックマネジメント計画』に基づき、計画的に改築更新を進めており、現在、特別高圧受変電設備の改築工事を行っています。

この工事は、電力供給および処理場の運転を維持しながら行うものであり、処理場内の各施設への影響が最小限となるよう改築を行い、電力会社と連携しながら工事を進めています。

令和3年度に工事に着手し、建物の建設及び電気設備の製作は完了しました。現在は、ケーブルの敷設工事や設置した電気設備の試験調整を行っています。



特高受変電棟



電気設備の設置工事

焼却灰搬出ホッパ棟の建設工事を行っています

諏訪湖流域下水道の下水汚泥焼却灰には、自然由来によるヒ素が含まれているため、熔融結晶化により人工骨材化してきましたが、熔融結晶化施設が老朽化したため廃止しました。

現在、下水汚泥焼却灰はセメント工場へ搬出し、セメントの原料として再資源化されていますが、当処理場から安全かつ安定的に焼却灰を搬出するため、焼却灰搬出ホッパ棟を建設することになりました。

令和3年度に工事に着手し、建物の建設工事は完了しました。現在は、機械・電気設備の製作を行っています。



焼却灰搬出ホッパ棟（ドローン撮影）

災害対応訓練を実施しました

令和5年6月15日にクリーンレイク諏訪で災害対応訓練を実施しました。

水害を想定した排水ポンプの設置及び運転訓練では、ポンプの起動方法やホースの設置方法などについて説明したあと、ポンプを運転して排水状況を見学しました。

石油類及び薬液の漏洩、流出対応訓練では、石油類や薬液が漏洩した場合に備え、河川や処理施設に流れ出すのを防ぐための吸着マットの種類の確認や設置訓練を行うとともに、側溝に設けられた流出防止ゲートの操作方法について確認しました。また、土のうの設置訓練も行いました。

いずれも必要な知識やポイントを確認することができ、大変有意義な訓練となりました。



排水ポンプの設置及び運転訓練



石油類及び薬液の漏洩、流出対応訓練

電気安全研修会を実施しました

クリーンレイク諏訪には下水処理のための設備が大変多くあり、それらのほとんどは電気で動いています。設備を正常に動かすためには、工事、点検、保守などの作業が必要となりますが、作業時の安全確保はととても重要です。

このため、令和5年6月23日に電気安全研修会を実施し、作業時に感電事故が発生しないための停電処置、情報共有、手順書の作成などのポイントを説明しました。また、全国で発生した感電事事故事例を基に、その原因と対応方法についても学びました。

安全確保のための基本事項を再確認し、今後の作業に活かしていきます。



研修会実施状況